

ディプロマ・ポリシー

CP5	
主体研究	思考力・判断力・表現力を養うために、健康と栄養に関する課題について、学修した専門知識と技能を用いて研究・調査を行い、その結果を考察して論述・発表するための「卒業論文」と「卒業演習」を配置する。
主題研究	

CP4	
専門分野	総合演習
	臨床実習
	給食経営管理論
	公衆栄養学
	臨床栄養学
	栄養教育論
	応用栄養学
専門基礎分野	基礎栄養学
	食べ物と健康
	人体の構造と機能・疾病の成り立ち
	社会・環境と健康
	基礎栄養学
	調理学
	食品利用学
基礎分野	CP3
	専門分野を学修するための基礎として、化学や生物学などに関する講義科目を配置する。さらに、学修した知識を検証し、体験的に学ぶための実験科目を配置する。

CP3	
基礎分野	専門分野を学修するための基礎として、化学や生物学などに関する講義科目を配置する。さらに、学修した知識を検証し、体験的に学ぶための実験科目を配置する。

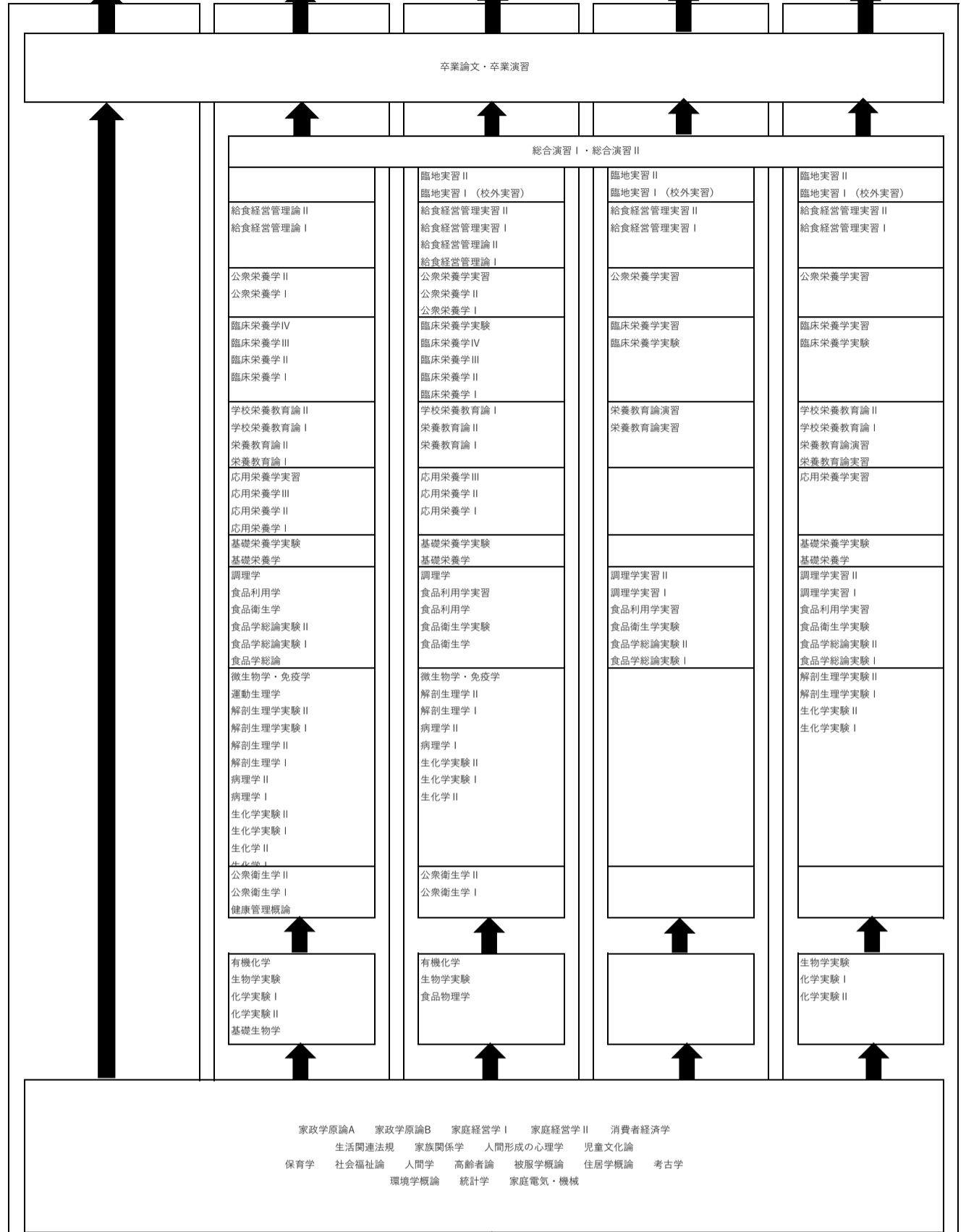
CP2	
家政学部共通科目	家政学部共通科目では、家政学を学ぶうえで身に付けておくべき基本的な知識と技能を修得するため、以下のように教育課程を編成する。 ・被服、食物、住居、児童、家庭経営の5領域の基本的知識を学び、それらを統合した人間のライフサイクルと福祉の視点から人間生活の構造や基本事項を理解するための科目を配置する。 ・前述の5領域に隣接または基礎となる社会科学・自然科学などの幅広い諸科学の視点と基本的知識を獲得するための科目を配置する。

CP1	
教養教育科目	学生を、ひとりの女性・ひとりの人間として自律できる人材、すなわち日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加・貢献して責任ある役割を果たす人材として育成するために設けられた「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップ」の必修・選択必修を右のように定める。  自律と努力コア ・初年次教育科目・キャリア教育科目として、客観的に物事を理解し、自己を確立し生涯学び続けるための基礎的な力を養うため、以下の必修を定める。 ・学生生活への適応、ライフプランやキャリアプラン形成のための「ライフプランと自己実現」、そして論理的な考え方や文章作成技術の定着、課題発見、課題分析、情報収集、グループワーク、プレゼンテーションなどの課題解決に必要な技術の定着をはかるとともに、社会人として果たすべき責務を学ぶために、少数で行う「基礎ゼミナール」「課題解決のためのリーダーシップ入門」を必修とする。
	協働とリーダーシップコア ・他者と協働しながら課題解決に導くためのリーダーシップ力を養う科目区分であり、「リーダーシップ開発実践」「リーダーシップ開発応用」から2単位を選択必修科目とする。  創造とキャリアコア ・新たな価値を創造し社会と積極的に関わっていくための基礎的な力を身につけるとともに、社会人として必要な教養を養うため、以下の必修・選択必修を定める。 ・情報リテラシーにおいては、情報化が加速する現代の社会生活で必要となる数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識や技術を身につけるために、「データサイエンスとICTの基礎」を必修とする。 ・英語においては、プレシメメントテストの結果を踏まえた習熟度に基づくクラスを編成し、学生の習熟度や希望に応じて体系的に科目群を編成する。現代の社会生活で必要となる英語コミュニケーション力のために「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を必修とする。また、今後、進展するグローバル環境におけるキャリア形成に必要な語学能力を養成するためにTOEICのスコアアップを目指す。 ・語学科目においては、「英語」および「初習外国語」の科目群より4単位を選択必修科目とし、今後、進展するグローバル環境において必要な英語コミュニケーション力やキャリア形成に必要な語学能力を養成する。 ・生活者の視点で社会を幅広く俯瞰し必要な教養を身につけるために「情報リテラシー」「語学」以外の科目より食物栄養学科管理栄養士専攻は4単位を選択必修とする。

カリキュラム・ポリシー

アドミッション・ポリシー

DP1/客観性・自律性			DP2/課題発見・解決力	DP3/リーダーシップ
DP1-1/幅広い教養 健康と栄養を多角的に捉えるための幅広い教養を有している。	DP1-2/専門知識 健康と栄養、特に栄養管理と栄養指導にかかわる広範な専門知識と技能を有している。	DP1-3/主体的判断力 健康と栄養にかかわる諸問題について、専門知識に基づき総合的に理解し、主体的に判断する能力を身に付けている。	健康と栄養にかかわる課題を自ら発見し、専門知識と技能を用いて解決する能力を身に付けている。	他者の意見を尊重し、他者と協働しながらリーダーシップを発揮することができる。



協働とリーダーシップコア	他者と協働しながら課題解決に導くためのリーダーシップ力を養う科目区分であり、「リーダーシップ開発実践」「リーダーシップ開発応用」から2単位を選択必修科目とする。
創造とキャリアコア	新たな価値を創造し社会と積極的に関わっていくための基礎的な力を身につけるとともに、社会人として必要な教養を養うため、以下の必修・選択必修を定める。 ・情報リテラシーにおいては、情報化が加速する現代の社会生活で必要となる数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識や技術を身につけるために、「データサイエンスとICTの基礎」を必修とする。 ・英語においては、プレシメメントテストの結果を踏まえた習熟度に基づくクラスを編成し、学生の習熟度や希望に応じて体系的に科目群を編成する。現代の社会生活で必要となる英語コミュニケーション力のために「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を必修とする。また、今後、進展するグローバル環境におけるキャリア形成に必要な語学能力を養成するためにTOEICのスコアアップを目指す。 ・語学科目においては、「英語」および「初習外国語」の科目群より4単位を選択必修科目とし、今後、進展するグローバル環境において必要な英語コミュニケーション力やキャリア形成に必要な語学能力を養成する。 ・生活者の視点で社会を幅広く俯瞰し必要な教養を身につけるために「情報リテラシー」「語学」以外の科目より食物栄養学科管理栄養士専攻は4単位を選択必修とする。
自律と努力コア	初年次教育科目・キャリア教育科目として、客観的に物事を理解し、自己を確立し生涯学び続けるための基礎的な力を養うため、以下の必修を定める。 ・学生生活への適応、ライフプランやキャリアプラン形成のための「ライフプランと自己実現」、そして論理的な考え方や文章作成技術の定着、課題発見、課題分析、情報収集、グループワーク、プレゼンテーションなどの課題解決に必要な技術の定着をはかるとともに、社会人として果たすべき責務を学ぶために、少数で行う「基礎ゼミナール」「課題解決のためのリーダーシップ入門」を必修とする。

DP1-1との関連性がとても高い科目	DP1-2との関連性がとても高い科目	DP1-3との関連性がとても高い科目	DP2との関連性がとても高い科目	DP3との関連性がとても高い科目
--------------------	--------------------	--------------------	------------------	------------------

AP1/知識・技能 高等学校の教育課程を幅広く修得している。	AP1-2/知識・技能 高等学校卒業までの履修内容のうち、管理栄養士専攻の学修の基盤となる化学と生物学の基礎的な知識と技能を修得している。	AP2/思考力・判断力・表現力 健康と栄養に関する社会問題を多角的に捉え、自らの考えを論理的に整理し、客観的に他者へ説明する意欲と姿勢を有している。	AP3-1/主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 課題に対して主体的に探究を行い、最後まで取り組む意欲と姿勢を有している。	AP3-2/主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 他者の意見を尊重しながら他者と協働し、リーダーシップを発揮して社会に貢献する意欲と姿勢を有している。
-----------------------------------	--	---	---	---

※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。